

# 平成24年度「ゆめおり教育フォーラム」熟議の記録

開催日時：平成24年12月15日(土) 午後2時～5時  
開催場所：八王子市教育センター

## 1 内容

東日本に甚大な被害をもたらした大震災において、被災された人々や復興に尽力する人々の姿を通して感じた「絆」や「命の大切さ」といった教訓を、どのように次世代を担う子どもたちに引き継いでいくかをテーマとした。

最初に4人の教育委員がテーマに関するメッセージを発表した後、熟議参加者(教育委員、学校運営協議会委員、市立小中学校長)は4つのグループに分かれ、教育委員のメッセージを基にして、ファシリテーターの進行により議論を展開した。

## 2 プログラム

14:00 開会 [ 熟議参加者紹介 → 開会挨拶(坂倉 仁 教育長) → 教育委員からのメッセージ発表 ]  
14:45 熟議 [ 4グループに分かれて実施 ]  
16:30 熟議結果発表 [ 各グループ5分 ]  
16:50 講評 [ 小田原 榮 委員長 ]  
16:55 閉会

## 3 熟議の進め方

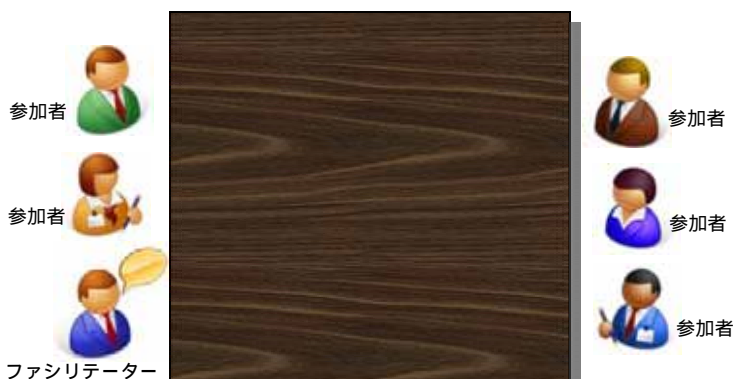
- ・熟議参加者27名を4グループに編成(1グループ6～7名)し、「熟議」を展開。
- ・各グループには教育委員会事務局の部長職1名を配置。ファシリテーターとして熟議を進行する。  
ファシリテーターは、会議等において中立な立場から議論を管理し、成果が最大となるように合意形成や相互理解に向けて調整する役割を担う。
- ・その他、教育委員会事務局職員数名を各グループに配置。模造紙記録、付箋紙添付など熟議の進行を補助する。

### (第1ラウンド)

- ・自己紹介(各自1～2分)
  - ・所属、氏名
  - ・教育委員からのメッセージの感想
- ・グループ発表者を決定

#### 《第1ラウンド》

参加者全員の自己紹介に続いて、グループ発表の発表者を決める。

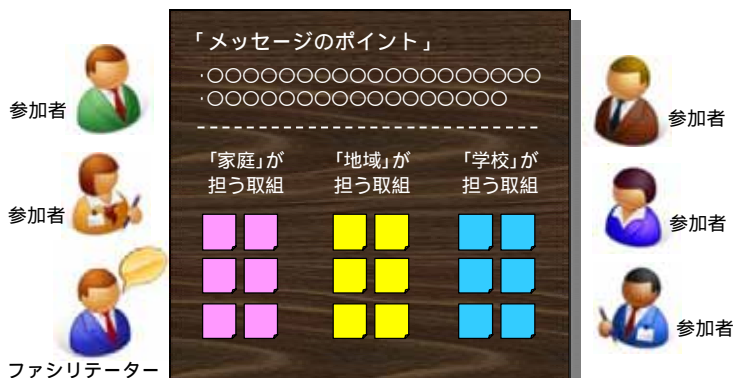


### (第2ラウンド)

- ・「教育委員からのメッセージ」の論点整理
  - ・ファシリテーターによる論点(メッセージのポイント)の整理
  - ・メッセージのポイントを模造紙に記入
- ・メッセージのポイントから考える具体的取組策の提示
  - ・各自、付箋紙へ具体的取組策を記入  
付箋紙1枚につき1件・1人複数枚作成可能
  - 取組策は、家庭が担う取組(桃色)・地域が担う取組(黄色)・学校が担う取組(青色)によって、付箋紙の色分けを行う
  - ・順番に発表しながら具体的取組策(付箋紙)を提示

#### 《第2ラウンド》

メッセージの論点(ポイント)を整理し、具体的取組策を提示する。



### (第3ラウンド)

- ・全員の意見をもとに、具体的取組策を整理
  - ・付箋紙の分類(付箋紙のグループ作り等)
  - ・ファシリテーターは、取組策がわかりやすくなるように整理  
取組策は一本化しても、複数であっても可
- ・整理した内容を発表内容としてまとめて、熟議終了

#### 《第3ラウンド》

全員の意見をもとに、具体的取組策を整理する。



### グループ発表

- ・各グループの発表者が熟議結果を発表。(各グループ5分以内)

## 各グループの熟議内容

### ● 1 グループ ●      メッセージ『未来へ向かう力』

|          |            |        |
|----------|------------|--------|
| 教育委員     | 委員長        | 小田原 榮  |
| 学校運営協議会  | 第七小学校 委員   | 小泉 義裕  |
|          | 愛宕小学校 委員   | 貴家 由美子 |
|          | 浅川中学校 会長   | 佐戸 博   |
| 学校長      | 横山第二小学校 校長 | 渡邊 晃庸  |
|          | 別所中学校 校長   | 関口 慶朋  |
| ファシリテーター | 学校教育部長     | 野村 みゆき |
| 熟議進行補助   | 学事課長       | 海野 千細  |
|          | 指導課統括指導主事  | 山本 武   |
|          | 指導課指導主事    | 菅野 直博  |

#### 「教育委員からのメッセージ」の論点（メッセージのポイント）整理

- ・人と人が支え合い、助け合う力をつけることが大切
- ・子どもも大人も学び合う
- ・誰もがお互い関わりながら支え合っていく

↓  
**「子どもも大人も多くの人のなかで学んでいく力」**

#### メッセージのポイントから考える具体的取組策

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家<br>庭 | <b>一家団楽</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両親が仲良くする</li> <li>・映画やテレビを一緒に観たり本を読んだりして、互いに何に感動し、驚いたかを話し合う時間を持つ</li> <li>・お互いの話を聞く時間を持つ</li> <li>・挨拶をきちんとする</li> <li>・親子で買い物や散歩に出掛けたり、休日に山登りやスポーツをする</li> </ul> <b>保護者の学校・PTAへの参加</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動により多くの保護者が参加する</li> <li>・夏休みの宿題丸つけ、九九の暗記サポートなどの勉強についての連携</li> <li>・読み聞かせ、クリ－ン活動などの保護者の学校サポート</li> </ul> <b>食育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんとした食事を食べさせる</li> <li>・朝晩の食事を家族そろって食べる</li> </ul> <b>しつけ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しつけをきちんとする</li> <li>・「人を愛すること」を教える</li> </ul> |
|        | <b>地域行事の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事を通して生徒の社会性を育てる</li> <li>・スポーツ、子育て、ボランティアなどの活動を充実させる</li> <li>・住民が交流できる場所を作る</li> </ul> <b>地域での子どもの見守り</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供に関心を持つ</li> <li>・子どもの見守り、声掛けをする</li> <li>・怖く優しい「近所のおじさん、おばさん」になる</li> </ul> <b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室、総合型地域スポーツクラブなどの拡充展開</li> <li>・地域の公民館や社務所などに子どもを集めて合宿を行う</li> <li>・学校を開放してもらい、特別授業（お茶、昔遊び、英語など）の先生をする</li> </ul>                                                                                                                                 |
| 学<br>校 | <b>情報の発信、共有化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への学校情報の発信</li> <li>・学校公開の日を増やし、保護者や地域住民の来校の機会を増やす</li> <li>・子どもに学校であったことを家庭で話してもらう</li> <li>・子どもに地域の地歴を教える</li> </ul> <b>授業の工夫や地域との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことの楽しさを教える授業の実践</li> <li>・自分の考えを発表できる時間を作る</li> <li>・地域に住む方々と関わり合う学習の充実</li> <li>・展覧会や音楽会などの学校行事を地域の方々と実施する</li> <li>・学校は敷居が高いと思われがちだが、そうではないことをアピールする</li> </ul>                                                                                                                                                                                       |

● 2 グループ ●      メッセージ『命の大切さ』

|          |             |        |
|----------|-------------|--------|
| 教育委員     | 委員          | 川上 剋美  |
| 学校運営協議会  | 第七小学校 委員    | 長谷川 浩二 |
|          | 加住小中学校 委員   | 高橋 清一  |
|          | 浅川中学校 副会長   | 佐藤 ますみ |
| 学校長      | 長房小学校 校長    | 植竹 利之  |
|          | 宮上中学校 校長    | 小井塚 洋一 |
| ファシリテーター | 学校教育部指導担当部長 | 相原 雄三  |
| 熟議進行補助   | 学校教育部主幹     | 山野井 寛之 |
|          | 指導課統括指導主事   | 山下 久也  |
|          | 指導課指導主事     | 田島 由紀子 |

「教育委員からのメッセージ」の論点（メッセージのポイント）整理

**命の大切さ**

- ・他の命（人・動物・植物）を大切にすることをどうやって育てていったらいいのか  
他の気持ちを感じる心・思いやる気持ち、察する気持ち
- ・他の命（物）を大切にすることをどうやって育てていったらいいのか  
感謝の気持ち（我欲、弱さを乗り越えて）

メッセージのポイントから考える具体的取組策

家  
庭

- ・親子の対話を大切に
- ・他人を尊敬する家庭教育を
- ・ペットを飼う 命そのものを考えるきっかけにする
- ・親が親になる しっかり自分も生きる
- ・無駄を徹底的に検証する、想像力を養う 人の働き、心を大切にする
- ・自由と勝手の違いをわきまさせる
- ・いろいろな場面で教育を
- ・年代別に応じた基本的マナー、親教育 子どもの責任は親にある
- ・怒るのではなく叱る
- ・わきまえ
- ・家庭での役割をもたせる 家族の連携、一員としてのつながり、感謝の心、相手への思いやり
- ・家庭はホッとできる場であるべき公私の違い
- ・「あなたが大切」というメッセージを送り続ける

地  
域

- ・大人がどれだけ真剣に生きているか
- ・交流を通して、人の気持ち・その人の立場を考える
- ・コミュニティの中で、大人がしっかりと大切なことを伝えていく
- ・子どもは地域の八王子の日本の宝 すべての人が養育・教育をしなければいけない
- ・公共の場、物を認識する、させるような見守り
- ・顔見知りになること
- ・自分の子どもも、他の子どもも同じように見ていく
- ・物作り教室 買い与えるのではなく、作ることを経験する
- ・学校、地域、家庭での防災、安全対策、子どもたちの命を守る取り組み
- ・地域力の向上

学  
校

- ・スクールファームで食育教育 植物や野菜栽培を通して植物にも命があること、物を大切にせず食べる
- ・身近な動植物との関わり 飼育動物のぬくもりを肌で感じ、体験する
- ・地域の人との関わり 高齢者・障害者施設訪問により、相手の気持ちを考える心の育成
- ・校長講話、訪問等体験、道徳教育の充実
- ・保育体験、小さな子とのふれあい
- ・大切な人を亡くした方等からの体験談、講演会
- ・いじめ出前授業 人権について弁護士から学ぶ
- ・家族団らんを提唱するような課題を長期休業中にだす
- ・教師と生徒との関係、マナーの基本
- ・教科ごとのつながり、教材の取り上げ方
- ・温かく、子どもの能力を引き出す義務
- ・縦割り班活動の中学校での導入

● 3 グループ ●      メッセージ『小・中学校での取り組みに期待すること』

|         |                 |        |
|---------|-----------------|--------|
| 教育委員    | 委員              | 和田 孝   |
| 学校運営協議会 | 館小中学校 副会長       | 荻原 芳明  |
|         | 加住小中学校 委員       | 坂本 万里子 |
| 学校長     | 船田小学校 校長        | 飯澤 公夫  |
|         | 第七中学校 校長        | 小山 政弘  |
| 事務局     | 生涯学習スポーツ部国体推進室長 | 富貴澤 繁幸 |
| 熟議進行補助  | 指導課統括指導主事       | 所 夏目   |
|         | 指導課指導主事         | 野村 洋介  |

「教育委員からのメッセージ」の論点（メッセージのポイント）整理

1. 学校が誇れる教育活動の実施
2. 人との交流、集団活動を重視
3. 異年齢交流、地域活動への参加、本物に触れる機会など多様な活動の実施

↓

**子どもたちに地域の人とともにあるという意識を持たせる**  
**学校は自信をもって教育活動の充実を図る**

メッセージのポイントから考える具体的取組策

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家<br>庭 | <b>学校への関わり(参加率)をあげる</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子を子どもからよく聞き、学校への提案を行う</li> <li>・保護者同士のネットワークをつくり学校の様子を知る</li> </ul> <b>しつけをきちんとする</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しつけをきちんとする、生活のリズムを守らせる</li> <li>・あいさつの習慣をつけさせる</li> </ul>                                                                                                           |
| 地<br>域 | <b>地域の機能を高める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施</li> <li>・地域清掃デーを設け地域と小・中学生が共に清掃活動を実施する</li> </ul> <b>地域から学校へ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育活動に参加する(講師として参加、授業参観)</li> <li>・職場体験の場を提供</li> <li>・地域で交流会の場を設ける(もちつき大会、マラソン大会等)</li> <li>・地域の行事(祭り等)に児童・生徒(ブラスバンド部、ダンス部等)の参加の場を設ける</li> <li>・学校との関わりを持つことで子どもの見守り等の防犯意識向上</li> </ul> |
| 学<br>校 | <b>地域とのつながりを深める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域と協力した防災訓練の実施</li> <li>・学校における防災教育→子どもたち自身で考えられるように<br/>中学生にはいざという時に自分たちのできる貢献を考えさせる</li> <li>・地域にある公園の美化活動</li> <li>・保護者地域と共に清掃活動を実施する</li> <li>・あいさつ運動を地域ぐるみで実施</li> <li>・中学校区での地域との交流(小中一貫)(異年齢交流)</li> <li>・地域行事への参加、協力</li> </ul>                                                               |

● 4 グループ ●      メッセージ『人と人とのつながり』

|          |             |        |
|----------|-------------|--------|
| 教育委員     | 委員          | 金山 滋美  |
|          | 教育長         | 坂倉 仁   |
| 学校運営協議会  | 館小中学校 委員    | 長田 栄作  |
|          | 愛宕小学校 会長    | 小関 早苗  |
| 学校長      | 第四小学校 校長    | 二田 孝   |
|          | 第六中学校 校長    | 田中 裕之  |
| ファシリテーター | 生涯学習スポーツ部参事 | 穂坂 敏明  |
| 熟議進行補助   | 学校教育部主幹     | 平塚 裕之  |
|          | 指導課先任指導主事   | 木下 雅雄  |
|          | 指導課指導主事     | 草刈 あずさ |

「教育委員からのメッセージ」の論点（メッセージのポイント）整理

**人と人とのつながり**

- ・「人と人とのつながり」を築ける地域にする
- ・「生きる力」を子どもたちに伝える

メッセージのポイントから考える具体的取組策

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 家<br>庭 | <p><b>考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを愛する</li> <li>・自分を大切にすることを教える</li> <li>・他の家庭の子も含めた広い視野で見る</li> <li>・子どもの発意・発想・意欲を大切に</li> <li>・「学び」と「点数」はイコールではない</li> </ul> <p><b>取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子・家庭での会話の時間を増やす</li> <li>・「ありがとう」「お願いします」を家族間でも積極的に口にする</li> <li>・一日一食は家族で食卓を囲み、その日の感想等を述べる</li> </ul>                                                                                                                                             |
| 地<br>域 | <p><b>地域の一員として</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で育てる</li> <li>・自分の子や孫と思って</li> <li>・叱るべき時は叱る</li> <li>・地域の行事にまずは参加してみる</li> <li>・家庭を地域社会に引っ張り出す</li> <li>・家庭は社会（地域）あって機能を発揮する</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 学<br>校 | <p><b>個人を育てるベース</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の責任を教える</li> </ul> <p><b>集団を育てるコミュニティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の充実（授業・行事・クラブ等）</li> <li>・「コミュニケーション」を意識した指導</li> </ul> <p><b>共通</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは先生が仕事を愛した中で子どもに接する</li> <li>・子どもの人間性を尊重する</li> </ul> <p><b>地域の力とともに</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災で地域のつながりを再構築（学校のリーダーシップ）</li> <li>・地域の大人のコーチで部活動を充実させる</li> <li>・楽しい地域行事の企画（花火・ハロウィンなど）</li> </ul> |